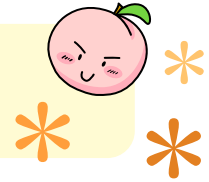


お茶のお話（中）



みなさん、こんにちは。今日はお茶のお話です。

立春から数えて88日目のことを「はちじゅうはちや八十八夜」といい、今年は5月1日です。数日後には立夏を迎えることから、夏の準備を始める重要な節目と考えられてきました。

「夏も近づく八十八夜…」という歌から茶摘みが連想されるように、この頃に茶摘みの最盛期を迎えます。八十八夜に摘み取られたお茶は、柔らかく良質で、古来より不老長寿の縁起物の新茶として大切にされています。長寿になるという由来は、八十八は末広がりすえひろがりの漢数字の「八」が重なることからきています。

また、八十八という漢数字を組み合わせると、漢字の「米」になることから、この日は、農家の人たちにとって縁起が良い特別な日とされ、茶摘みや米や野菜の苗作りなど農作業の目安とされてきました。

今日の献立は、「ちくわのお茶天ぷら」です。衣に使用している抹茶は、新型コロナウイルスの影響で大変な思いをしている農産物業者を応援するために、愛知県から提供していただいたものです。みんなで味わっていただきましょう。